履歴書

2020 年 11 月 18 日現在

| フリガナ | イ スン ヒョプ | | |
|-------|------------------------------------|----------|------------------|
| 氏 名 | 李昇協 | | |
| 生年月日 | 1996 平成 8 年 05 月 02 日生 (満 24 歳) 性別 | 男 | |
| 現住所(|) キョンサンナムド テアムロ 22 | TEL | +82-055-282-0651 |
| 慶尙南道 | [昌原市 城山区 デアム路 22 | FAX | |
| 携帯電話 | +82-010-3366-0651 E-Mail lesh050 | 2@yahoo. | co. jp |
| 実家の住所 | (-) キョンサンナムド テアムロ 22 | TEL | +82-055-282-0651 |
| 慶尙南道 | [昌原市 城山区 デアム路 22(103-305) | FAX | |

| 学歴 | | | | | | | | |
|-------|----|------------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 年 | 月 | 項目別 | | | | | | |
| 平成 27 | 2 | 昌原南高等学校 卒業 | | | | | | |
| 平成 27 | 3 | 仁濟大学校 コンピューターシミュレーション学科 入学 | | | | | | |
| 平成 29 | 10 | 兵役 終了(平成28年1月~) | | | | | | |
| 令和 3 | 2 | 仁濟大学校 コンピューターシミュレーション学科 卒業予定 | | | | | | |
| | | 以上 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 経歴・職歴 | | | | | | | |
|-------|----|---|--|--|--|--|--|
| 年 | 月 | 項目別 | | | | | |
| 令和 元 | 8 | アルバイト先の企業で行なった YANMAR (Arduino を利用して ECU コントローラー開発) | | | | | |
| 令和 元 | 12 | 学校のプロジェクトで Unity を利用してゲーム開発 | | | | | |
| 令和 元 | 12 | 大学校の授業でアルドゥイノのデーター視覚化 | | | | | |
| 令和 2 | 4 | 大学校から日韓プロジェクトでホームページを作る (HTML, CSS) | | | | | |
| 令和 2 | 6 | 大学校の卒業のプロジェクトでホームページを開発 (Python, Flask) | | | | | |
| 令和 2 | 9 | アルドゥイノ教育 - 仁濟大学校 DreamFactory | | | | | |
| 令和 2 | 9 | 2020 アルドゥイノ活用教育 - 仁濟大学校 創業支援団 | | | | | |
| 令和 2 | 11 | バイトで、アンドロイドアプリを開発 | | | | | |

| 配偶者の有無 | 留学経験の有無 | 兵役について | | |
|------------------|--------------------|--------|--|--|
| | | | | |
| ※配偶者の国籍をご記入ください。 | ※留学した国の名前をご記入ください。 | (済) | | |

| 資格・免許 | | | | | | | | |
|-------|---|---------------------|--|--|--|--|--|--|
| 年 | 月 | 項目別 | | | | | | |
| 平成 27 | 1 | 普通自動車第一種運転免許 取得 | | | | | | |
| 平成 28 | 8 | 日本語能力試験(JLPT) N2 合格 | | | | | | |
| 令和 2 | 9 | COS2 級 取得 (YBMNET) | | | | | | |
| | | 以上 | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |

| 言語能力 | | | | | | | | | | |
|-------|------|----|-------|------|-------|---|---|-------|---|---|
| | JLPT | | | | TOEIC | | | | | |
| | | N2 | | | | | | | | |
| 取得年月: | 年 | 月 | 取得年月: | 2016 | 年 | 8 | 月 | 取得年月: | 年 | 月 |

その他の言語能力

普段任されたことには最後まで最善を尽くして様々な方法をもって、解決しようとした習慣を育ててきました。 また、大学から勉強したプログラミングの知識を活用して、Arduino でハードウェアとソフトウェアの連絡のプロジェクトに参加したことがあります。

ソフトウェアやハードウェアの両方を自由自在に扱うほどの能力を貴社と充分こなせることができると思います。 プロジェクトで積んだ経験と貴社で働きながら持つ専門的な知識をもって、貴社に力になれると思います。

自己PR

「成長過程」

高校まで文系だった私は、コンピュータに関連した情報と知識がないまま大学に入った学生でした。また、高校で習ったことがなかった物理学と修理科目を大学で初めて接して、勉強するには困難がありました。文系だったこともあって、恐怖を感じるようになって進学を諦めることまで考えました。

しかし、高校時代、理系科目を学ばなかったことは、授業後の先生に質問をして理解できるようになり、物理学と修理ができていない理由の恐怖は、単純にその状況を避けるための手段だったことを知りました。

私にできる方法は、人よりも多くの時間と努力をかけて、問題の理解を高めなければいけませんでした。初めて接した専攻であるC言語の本を通して、最初から読んでサンプルを実習しながらコードの理解を高めることに努力しました。時間が経過して、コードが作成された論理的な順序が見え始めて、数理的な知識と物理的な理解もまた上昇することができました。

その結果、学科内の成績はもちろん、コードの理解力が伸びて、学科内で認められて、何でも努力をすればできるという自信を得ました。

「性格」

私は忍耐、柔軟な思考、目標意識の強みを持っています。私は大学に入学して高校生の時苦手な科目がありました。初めて接した科目についてあきらめるより、誰が分かってくれなくてもやるべきこと、成果をあげて認められる学生になりたい目標がありました。絶えず熱心な姿を失うことなく、学期が経つにつれ、周囲から私を求めることが多くなっただけではなく、成果をあげて認められました。しかし、たまには目標意識が強すぎて目標を必ず達成しなければならないという考えのせいで、一つのことに集中すれば、他のことを忘れる時がありました。だから、私は目標ができたとき、私の欠点を補完するために、メモして記録する習慣を持とうとしました。この習慣のおかげで、周りを見るようになって、同時に目標も達成することができる一挙両得の効果を得ることができました。私はいつも誠実さと勤勉の努力は、自己の発展の土台となり、他人に役に立てるのもできると考えています。これらの長所と短所を連携させて私を必ず必要とする業務をしたいです。

「大学の生活」

ECU Controller 製作

Arduino を使用して、ハードウェアとソフトウェアの接続プロジェクトに参加して、RPM と冷却水の温度、電圧などを表示するエンジンコントローラを作った経験があります。ほとんど ECU Controller は、技術を使用している技術者や専門家に限定されて使用されるため、一般の顧客対象としても、簡単にコントローラを利用することがどうだろうかという疑問で作り始めました。

アルバイトしていた会社でプロジェクトを進行して、バッテリの出力電圧、RPM、冷却水温度、油の圧力などの物理的な機能と製品の分析により、一般ユーザーにも分かりやすく、同時に専門家は、事前に故障の原因を分析することができて、時間の節約の効果を得ることができました。

このプロジェクトでのソフトウェアとハードウェアの両方を自在に操る程度の能力を向上させ、プロジェクトを通じて何でもできるという自信を得ることができました。

校内実習

大学で勉強したプログラムの中で HTML5 でホームページが作成される方法と Android スタジオを使用して、Android 電卓アプリケーションなどを作ったことがあります。他にも、C言語を用いたロト抽選機、C言語ベース Arduino を通じたハードウェアとソフトウェアの組み合わせ、Python を使用した人工知能の基本的な原理などを習得したり、プログラムを設計する前に、フローチャートを考えて、C言語や JAVA などのプログラム原理と方法を理解して、エラーを減らす練習をしてきました。これらの練習は、作成するプログラムが終わるまで、常に最高の方法を得るために様々な方法に挑戦して適用することができる習慣を育ててくれました。

「職務支援動機」

専攻知識を積むために、学校図書館で論文を探して読んだり、インターネットコミュニティサイトなどの検索を通じて知識を習得しました。また、プロジェクトをする時、協力を高めるために校内プロジェクトに個人参加ではない、チーム参加でプログラミング方法やコディングを学んだりしながら、私のコーディングのスキルを育てるために努力しました。あと仕事のプロジェクトをするときが多いと思います。

チームの構成員との協力がもっと重要になると思いますが、意見が合わないとき、専攻知識ではなく、コミュニティやこの前して来た、プロジェクトで勉強した経験を持って、構成員の意見を受けながら柔然でより画期的なプログラムを作る ことができると思います。

趣味・特技

趣味は、ホームページを作ったり、日本のドラマを見ながら字幕を作ることです。

職種は、パソコンを活用する仕事をしたいです。

大学のほとんどを専攻の勉強で、パソコンと過ごしましたので、他の分野よりも上手くやって行けると確信します。